



あなたと議会のかけはし

ふだい

# 議会だより

2014  
No. 127

平成26年5月1日発行



「写真、とってとって〜!」。  
元気な子どもたちの笑顔が  
はじけます。(4月24日、  
はまゆりこども園)

村民との意見交換会に約100人 2ページ

37億円の26年度予算を可決!(3月定例会のあらまし) 4ページ

予算特別委員会—26年度の諸事業を審議 6ページ

村の考え問う!—3議員が一般質問 10ページ



# 意見交換会に 約100人参加

## 皆さんの意見を一般質問、予算特別委員会に反映！

### ●第1回臨時議会

第1回臨時議会が2月3日に開かれました。議案は1件で、普代村村営住宅条例の一部の改正が議決されました。(配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関するの入居条件の条文改正)

### ●監査委員に松葉さんを再任



識見を有する監査委員の任期の満了(2月6日)に伴い、選任についての同意が当局より求められました。再任として全会一致で現在の松葉明人さん(53=中央区)が議決されました。任期は4年間です。

### 各地区の参加状況



茂市地区の様相

- A班** (坂下・金子・中村・森田)  
 ▶太田名部…12人 ▶茂市…3人 ▶萩牛…8人 ▶沢向…7人 ▶堀内…10人  
 ▶中央区・上区・緑区…8人  
 合計 48人
- B班** (中上・小屋敷・小中居・熊谷・大上)  
 ▶黒崎…13人 ▶鳥居…10人 ▶芦渡…5人 ▶堀内机…10人 ▶白井…4人 ▶旭日区…5人  
 合計 47人



活発な意見が交わされた黒崎地区(2月4日)

昨年に引き続き2回目の「村民と議会との意見交換会」が2月4日と5日の2日間行われ、全12会場で95人が参加。多くの意見をいただきました。その意見は、3月定例会の一般質問や予算特別委員会の質問にも出され、皆さんの意見が多く反映された議会となりました。今回は各地区での様子や参加状況、主な意見などを報告します。

### テーマを3点に絞る

前回の意見交換会の反省として、皆さんから何かたまたま台があったほうがよいということ、議会からそれらの状況を知らせてほしいという意見がありました。

議会としても、地区の要望を聞くというだけでは、村政懇談会との区別がなく、議会の役割が明確にならないという、進行方法に対する悩みがありました。

そこで今回は迷走を続けている「くろさき庄の今後」と、長年の悲願であった「駅前広場の整備状況、そして「議会だより」からのお願い」ということをテーマとし、村民の皆様の意見を伺うという事で取り組みました。

### 今後も議会に生かす

集まった皆様からは、テーマ以外の意見、要望も多数出されて、村民目線からの課題を改めて認識し、議会活動に生かす内容となった意見交換会でした。

2月23日には、総務常任委員会と産業経済常任委員会の2班に分かれ、意見交換会の集約と、村民の皆様への伝え方について話し合いました。今回の意見は、今後の議会活動で行政に確認を取りながら、適切に進めるようにしていきます。

●くろさき庄について  
 なくてはならない施設だ  
 部屋の雰囲気、環境を  
 もう少し近代化して  
 ほしい

限界集落となって  
 送る人がなく  
 葬式ができない  
 みんな久慈で  
 七日も済ませてくる  
 後継者が戻って  
 暮らしてくれるのか  
 くろさき庄で葬祭を  
 するようにならないと  
 密葬のようにな  
 ってしまう

くろさき庄の風呂への  
 バスを出してほしい

厨房、食堂に一億円以上かけ  
 順番に老朽化していき  
 どんどんお金が掛かる  
 別な所に建てたらどうか

皆さんからの  
 主な意見!



人口も減り工事関係者も  
 あつた2、3年の利用となれば  
 やってほしいのか心配だ

経営主体が  
 どこになっても  
 しっかりと直して  
 何かのときの施設として  
 使えるように  
 お願いします

●駅前広場について  
 駅前整備の件と併せて  
 診療所に行く道路が  
 まだだかどうなつて  
 いるのか

●議会だよりについて  
 文字が大きくてよい  
 文章は短くてよい  
 回覧やチラシも  
 そつしてほしい

●その他の意見・要望  
 2040年には  
 人口が半分になる予想だ  
 空き家が出ると思う  
 行政で管理し  
 移住する人を増やすなど  
 策をとっていただきたい

職員採用が  
 不透明ではないか  
 農業関係の補助を村で  
 情報公開するのが遅い  
 何も知らないうちに  
 打ち切られていた

雇用場の場を作してほしい  
 建設水産課では  
 道路の巡回してほしい





三陸沿岸道路「普代道路」を活用した新たな村づくりが望まれます

# 予算総額 37億を可決

前年度比

約1億5千万円の減

条例の整備に関する変更

▽沢向コミュニティセンター  
▽使用料▽普代ダムかんがい用水使用料▽運動公園使用料▽海洋センター使用料▽くろさき荘▽管理センター▽漁業集落排水処理施設使用料▽簡易水道料金など

消費税法の改正により、4月1日から引き上げられる消費税等相当額分が、施設の手数料などに転嫁される条例の変更。

村営バス条例の改正

利用者の負担軽減並びに利便性向上のため、村営バスの乗車に係る使用料を乗車1回につき一律100円に見直すとともに高校生以下に係る使用料を無料とするための改正。

平成26年村議会3月定例会は、3月4から7日までの4日間開かれ、議案25件、諮問1件、報告1件が提出され審議され、全て原案通り可決・同意されました。

梶屋伸夫村長からは平成26年度の施政方針が、佐々木康男教育委員長からは教育行政方針が述べられ、平成26年度当初予算案が示されました。

一般会計には3人が登壇し、一次産業の振興策、人口減少対策、地域活性化への助成などについて村の施策を正しました。

## 教育委員会委員の任命

熊坂伸子教育長が任期満了となり退任することから、新たに現総務課長の三船雄三氏（58歳緑区）の教育委員への任命の同意があり可決されました。任期は平成30年3月31日までの4年間です。



三船雄三氏

## 25年度一般会計補正予算

2億5298万5千円を追加し、総額が34億2153万6千円となりました。

黒崎漁港の沖防波堤消波ブロック設置事業などの漁港施設強化事業、災害復興特別交付税事業が主な増額。

## 25年度国民健康保険特別会計補正予算

1064万2千円を減額し、総額5億1557万6千円と

## 主な質疑

**問** 緊急雇用事業費151万円の返還金となっているがその理由は何か。

**答** 県から村で補助金を受けて事業者へ委託して支出している。消費税が発生しない部分に消費税分も付加していた

**問** 意見交換会で住民から出たことだが、防火水槽が足りないという意見があった。村への要望があったのか伺う。

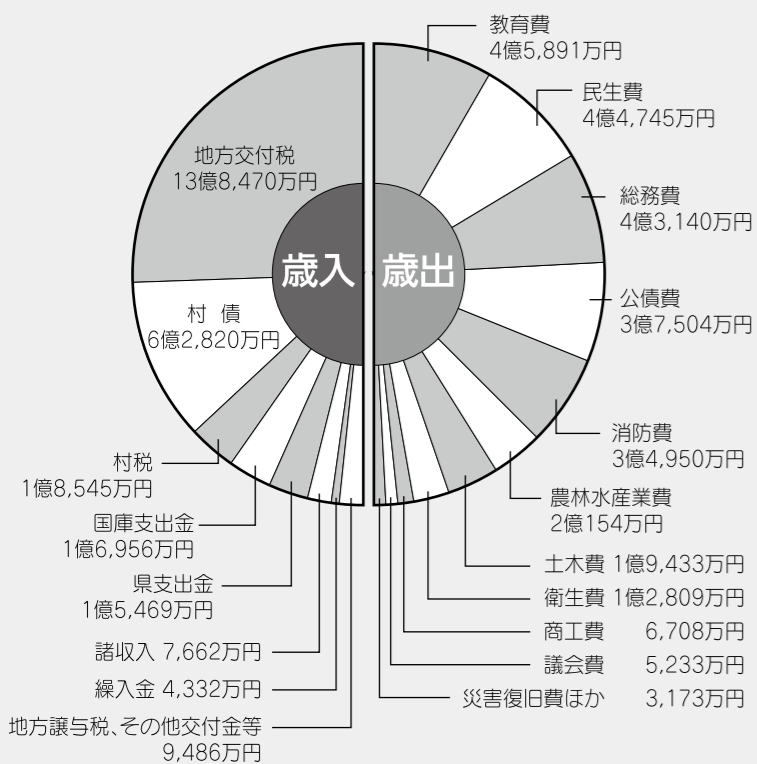
**答** 村へ防火水槽の設置要望はきていないし、村政懇談会でも要望は出ていない。団本部に協議をはかり出てくると

**問** 消費税が上がりがりその分の使用料が上がる。各地区の施設もそうなのか。また、地区所有の施設を村政懇談会で使った場合、村は使用料を払っているのか。

**答** 地区内の人の利用には免除規定があり無償となるので今回は適用されない。黒崎、太田名部、鳥居、旭日区は地区の建物で、村で使用しても使用料は支払っていない。今後見直しが必要と思う。

# 平成26年度予算額

## ◆一般会計 27億3,740万円



## ◆特別会計 10億1,070万円

国民健康保険	5億1,250万円
国民健康保険診療施設	2億1,340万円
簡易水道特別会計	1億1,750万円
休養施設事業特別会計	1億1,990万円
漁業集落排水事業	2,130万円
後期高齢者医療事業	2,610万円

### ◆歳出(使うお金)の主な用語説明

- 教育費……こども園、小中学校の運営や管理、生涯学習、スポーツ、文化財保護などに使う経費
- 民生費……高齢者や障がいを持つ人、児童の福祉推進に使う経費
- 総務費……村長や特別職、職員などの人件費、財産管理、地域振興に使う経費
- 公債費……諸事業の財源に借りたお金の返済に使う経費
- 消防費……消防活動や救急救命活動に使う経費
- 農林水産費……農林水産業などに使う経費
- 土木費……道路や公園、公営住宅の整備などに使う経費
- 衛生費……ごみやし尿、健康の増進のために使う経費
- 商工費……商業や観光に使う経費
- 議会費……議会議員の報酬、議会運営に関する経費



# 給食センターの移転新築、一貫校との併設、議論尽くせ！

26年度の諸事業を  
審議!!

総額37億円を認定

予算特別委員会(小屋敷委員長)は3月6日、7日の2日間開かれ、平成26年度の一般会計予算と6特別会計の総額37億4810万円を審査し、原案の通り可決されました。主な質疑と答弁の内容は次の通りです。

### 土地借上料の必要性は

金子委員

問 580万円の土地借上料の必要性の説明を求めます。

三船総務課長

答 毎年きちんとしたチェックはしていない。今後借地の必要性を精査していく検討をする。

### 人口減少対策の考えは

金子委員

問 「人口減少対策プロジェクト」という新たな事業がある。2040年には1760人まで減少すると試算されて

いるが、村を維持する対策、考え方を伺う。

川向政策推進室長

答 若い職員を集めたプロジェクトチームを編成し、各行政区に配置し、住民との懇談を通じ、村政の根幹を成す人口減少などの課題に取り組み。長期的には結婚の推進、子育て支援を通じて人口減少問題に取り組みしていく。

### 自主防災の指示などは

金子委員

問 自主防災組織は、緊急時にどこかの指示で動くのか、ルールなどについて村はどう

考えて進めていくのか。

三船総務課長

答 「地域住民による任意の防災組織」と規定されている。村は地域の任意の活動に対して、設立の援助、活動への支援を行う。

消防、警察組織は平時の人員であり、緊急時に十分な対応ができない。地域住民が自分たちの家族・地域は自分たちで守るという取り組みが自助・共助となる。そういう組織に対して支援するものであり、ルールなども組織設立の過程の中で、各

### 給食センター建設問う

中村委員

問 給食センター2億8千万円の工費が計上されている。小中一貫校建設との兼ね合いも考えた議論がないと無駄な投資となる。空き校舎などの活用は考えないのか。

太田副村長

答 施設の老朽化も激しく、危険であると再三保健所からの指導もあり、27年度の予定から前倒して26年度建設となった。

### 定住促進などの対策は

中上委員

問 定住促進ということですが、旧堀内小学校の校舎に若い人限定の住宅建設などの検討はできないか。移住・交流の住宅対策も伺う。



移転新築が予定される現在の給食センター(旭日区)

### アドバイザー事業とは

森田委員

問 地域づくりアドバイザー事業の成果と今後の計画内容を伺う。

川向政策推進室長

答 公社設立に向けた取り組みとして、漁業、農業を営む一般の生産者の方々への意識づけとして、民間会社のアドバイザーによる講演を実施してきたところである。

### 負傷事故の対応を伺う

大上委員

問 昨年7月の子ども園の園児負傷事故についての補償額が載っていない。予算計上がない理由を伺う。

熊坂教育長

答 この件については、まだ

### 子ども園園庭の詳細を

熊谷委員

問 子ども園の園庭拡張について詳細を伺う。

金子教育次長補佐

答 1532.6平方メートルを造成する予定である。



はまゆり子ども園の園庭拡張予定地(写真右側)



津波避難訓練時の旭日区自主防災会のテント設営訓練(昨年9月=北ノ股神社付近)

### 職員の採用計画を伺う

中村委員

問 年度中途の職員採用にあたり、募集の公平性に欠けてはいないか。27年度の採用計画はどうなっているのか。

太田副村長

答 27年度の採用数は今後の退職者、早期退職者を勘案し決めていくものであるが、27年度には2名の退職者予定となっている。

高さは盛土して道路と同じ高さにし、道路、境界、社協側の三方をフェンスで囲む予定で借地となる。



村のジオサイト位置は

金子委員 問 普代のジオサイトの位置はどこになるのか伺う。 佐々木商工観光対策室長 答 松磯公園、普代水門（太田名部防潮堤含む）、黒崎のアンモ浦海岸一帯、割沢鉄山の4カ所となっている。

公営住宅の建設計画は

熊谷委員 問 公営住宅への入居率は非常に高いが、今後の建設計画を伺う。 太田建設水産課長 答 堀内地区にあと2棟の計画以外はない。

それ以降の計画は、南浜住宅の移転改修建設を29年ごろをめどに計画しているが、まだ宅地は決定していない。 全部の移転ではなく、16戸の内の8戸は現在地にと考えている。

草刈りを部落の経費に

坂下委員 問 地域で道路の草刈をやつて、部落の経費の足しにできないか。 中村委員 問 三陸沿岸道路用地にかかる家屋移転の配慮は、どこまで村がやっているのか伺う。 太田建設水産課長 答 長途地区で5軒が移転となるうち、2軒の移転先が決まっている。 村で積極的に移転先をあっ

り、ほとんどの生徒が参加していた。今後土曜日の時間がある。 あり方を検討していく必要がある。

○豆知識

「ジオパーク」って何？



くろさき展望台からの絶景もジオパークの一つです

ジオパークとは、直訳すると「地球の公園」や「大地の公園」。その見どころとなるポイントを「ジオサイト」と呼び、各ジオサイトにはそれぞれの歴史、ストーリーがあります。

テーマは「悠久の大地と海と共に生きる～震災の記憶を後世に伝え学ぶ地域へ」。青森県八戸市から宮城県気仙沼市まで16市町村などで構成する三陸ジオパーク推進協議会（会長＝山本正徳宮古市長）が昨年4月下旬、日本ジオパーク委員会（茨城県つくば市）に申請しました。

負担と併せて見直す必要がある。

一貫校建設の方向性は

中上委員

問 「小中一貫校施設整備基本構想業務委託料」185万円余りの予算が計上されているが、建設の方向にあるのか併せ予算の内容を伺う。 熊坂教育長 答 委託内容は、建設予定地の調査・検討、施設整備計画策定委員会の専門家としての出席・助言、イメージ図の依頼である。

各集会施設の維持費は 問 各地区の集会施設の維持費について、村の対応に不公平感があると思うがどうか。 金子委員 答 各地区、村で建設した施設、地区で建設した施設とあり、村建設の維持費は村が負担している。地区建設施設の維持修繕は村が関わっていないという現状は確かに不公平であると思う。 施設などの改修には、応分の助成が必要と思う。応分の

消防団の備品を割安に

森田委員 問 消防団の備品購入、安全靴、防火衣計724万円計上されているが、村内業者などを利用してもっと割安で購入できないのか。 三船総務課長 答 非常に特殊なもので、村内業者で手に入るのかは分からない。専門業者だけを念頭においていたが、今後調べ直してみたい。（※安全靴1万1000円、防火衣8万3700円）

各集会施設の維持費は

金子委員 問 各地区の集会施設の維持費について、村の対応に不公平感があると思うがどうか。 太田副村長 答 各地区、村で建設した施設、地区で建設した施設とあり、村建設の維持費は村が負担している。地区建設施設の維持修繕は村が関わっていないという現状は確かに不公平であると思う。 施設などの改修には、応分の助成が必要と思う。応分の



海に近い場所にある現在の普代小

時期は遅れても建設していただけるものとして進めているかと思っている。

学習塾の予算減はなぜ

中上委員 問 学習塾の予算が60万円ぐらいい減額予算となっている。子どもたちへの学力の影響はないのか伺う。 金子教育次長補佐 答 塾の先生は宮古から平日と土曜に来ていただいているが、平日は夜の時間になるので大変だと言われ、土曜日のみの計画となり減額となった。 25年度は、平日は中学生1・2年生が11人、3年生が19人



昨年の学習塾の模様

【特別会計】

くろさき荘の増築内容

大上委員 問 厨房・食堂増築に伴い現在使っているところの解体費用は増築予算に含まれるのか。備品購入予算60万円の内訳も伺う。 佐々木商工観光対策室長 答 工事の入札不調などから、回収費用の事務室分1500万円、解体費の厨房・食堂分1700万円の予定は今回の

くろさき荘風呂に送迎を

金子委員 問 意見交換会で出た意見だが、移動手段のない高齢者もくろさき荘の風呂に行けるように、2週間に1回でも送迎バスを出せないか。 佐々木商工観光対策室長 答 新たな昼食の提供も含め、高齢者へのサービスとして、内部で検討していく。

一般質問

一般質問は3月4日、森田幸一議員、中上一登議員、金子泰男議員の3人が登壇し行政の施策を正しました。

一般質問は、定例議会で行われ、臨時議会では許されません。行財政全般にわたる質問が許されていますので質問する議員も、十分な準備が必要です。そのために、ほ

かの発言と違って通告制が採用されています。 議長の許可を得て行うことになるので、通告した質問の内容が、村行政に全く関係のないものや、議会の品位を傷つける恐れがあるようなものは、議長が許可しません。 制限時間は1人60分で、この時間内であれば、何回でも質問が可能です。

※通告制 事前に質問内容を行政に知らせること。

〈質問項目〉

○森田幸一議員

- ・一次産業振興について
- ・高齢者生きがい対策について
- ・まちづくり計画は

○中上一登議員

- ・人口減少対策について

○金子泰男議員

- ・地域活性化活動への助成
- ・森林保全
- ・廃校校舎・体育館の利活用

（質疑は次ページに掲載）





森田 議員

# もうかる農業、漁業、林業に 問題を現場主義で解決する

榎屋 村長

**森田議員**  
1次産業の所得向上と後継者問題、1次産業の新規就業者問題を示せ。

**榎屋村長**  
農業は、雨よけハウレンソウなどの生産拡大を目指す。シイタケは、植菌助成を拡大



ハウレンソウを収穫する農業者（向野場）

する。菌床シイタケは、順調に生産活動が行われており、引き続き支援する。

漁業は、養殖漁業の安定化と生産拡大、ブランド化に取り組む。そのほか、アワビの放流再開。定置網漁業は漁獲量の低下対応を国・県へ求める。

**森田議員**

高齢者が健康で生き生きといつまでも、安心して暮らすことができる村への対応はどうするのか。

**村長**

デイサービスの取り組みや、生活基本チェック活動、家族介護支援事業、認知症高

齢者の見守り事業などを実施している。

最近の課題としては、関係機関、近隣などとの接触が少ない方々の状況確認、把握、緊急時などへの対応をどう備えるかがある。

対策として近所での異変への気配り対応や、緊急通報装置の普及拡大、適切な見回り、見守りを強化する。新設で「地域見守り隊」の設置を検討する。

**森田議員**

元村地区の駅、商店街、宅地造成地、公園、公共施設などを組み入れたまちづくり計画は、どのように考えているのか。

**村長**

全体的には、コンパクトシティ的なまちづくりが適切だ。普代浜園地、南浜地区からの歩道や、観光拠点と普代駅前、町中を結び、観光客などの入り込みを増やし、賑わいの再生を皆さんとともに取り組む。

残土処理を活用して将来にわたってまちづくりに有効活用できる土地の確保を、地域の皆さんと相談しながら対応していく。



普代駅前に完成した復興ふれあい広場

## 村の将来ビジョンを

**中上議員**

住民との意見交換会では、人口減少に対し非常に危機感を持っていることを感じた。国の事業である「地域少子化対策強化交付金」の活用はあるのか、村の人口減少対策と併せて伺う。

**榎屋村長**

「地域少子化対策強化交付金」制度は、結婚・妊娠・出産・育児への支援の構築、情報提供、地域の環境整備などが条件となる。現段階では活用の予定はない。

村で進めている「出会いの場づくり」は対象外となって

いる。

今後村では、若者の定住化支援をして人口減少対策につなげていくために、

人口減少を抑える村づくり対応を特定課題として位置づけ、庁内の若手職員を中心に、人口減少対策プロジェクトチームをつくる。

各地に向向いて、村民の皆さんのさまざまな角度からの、貴重な意見をいただく対話の場を創出していき、その意見を国の交付金事業など、可能なものに活用していきたい。



子どもたちの笑顔あふれる村づくりが望まれています

**中上議員**

定住の具体策を伺う。

**村長**

移住定住活性化事業として、村で「出会いの場」を直接つくりたい。村外からバスで普

代にお招きし、若者が交流する機会をつくる。

**中上議員**

定住促進には、大人が普代に住みたいと思うような所にしていく必要がある。今年度は3回の予定で「ゼンとようようくらぶ」の講演があった。その意味での講演であると思う。これを今後どのように村の将来につなげていくのか、そのイメージを伺う。

**村長**

交通基盤もよくなり通勤圏が拡大されている。普代に住んで働く場へ通勤してもらい人口も増えることを想起して

## 人口減少への具体策示せ

中上 議員

## 移住交流事業を進める

榎屋 村長

**村長**  
情報発信の必要性は理解する。全体的な方向については職員にも徹底し、機会を通じて住民の皆様にも発信する努力を継続していく。



村ホームページのトップ画面





# 地域の高齢者活動に助成を

金子 議員

## 活動できる事業を今後模索

桎屋 村長

### 校舎・体育館の活用

金子議員

小学校統合後の体育館、教室の災害用備蓄庫への転用の考えはないか。葬祭センターのような多機能に使える活用策はないか伺う。

村長

役場、中学校、旧鳥茂渡小学校に備蓄をしている。それと併せ家庭内備蓄、企業備蓄などを充実していく。

平成26年度はB&G体育館にも備蓄する。空き教室の活用策としては、雇用の場の確保を基本として考えている。そのほかの有効活用については検討していく。

熊坂教育長

災害用備蓄庫としての活用は大変重要なことだ。教育委員会としての活用策は、旧鳥茂渡小学校の教室を、村内の遺物の保管場所として村と相談しているところだ。

※用語説明 水源涵養：森林が水資源を蓄え、はぐくみ、守っている働き。

考えていく。地域のための活性化活動についても、地域共同参画事業で取り組んでいく。

### 森林の公有化と保全

金子議員

森林は木材供給、災害防止、水源涵養、環境保全などの多くの機能を持っている。国は水源地公有化の財源措置をしている。水源地周辺と上流の森林を公有化する考えはないのか。また、公有となっている森林の整備はしているのか。

村長

国の財源措置は緊縮している。



茂市地区の水源地付近の河川

る。本村は多くの水道施設で沢・川の表流水を水源としている。その一帯の環境保全には注意しなければならない。

548ヘクタール。村有地は158ヘクタール。私有地360ヘクタールで70%の割合だ。村有地のみ面積は138ヘクタール。ダム湖周辺については村内全域での水源地の私有地、公有地の割合は、私有地の水源への影響など確定が困難だ。

### 第3回臨時議会

#### くろさき荘工事費増額再入札提案を議決

第3回普代村議会臨時議会が、3月18日開かれました。議案は、くろさき荘食堂・厨房工事請負契約の締結について、専決処分1件で、それぞれ可決となりました。くろさき荘工事再入札の経緯は、1回目の入札は1月、1億4300万円の予定価格に対して、応札業者がなく不

落となりました。

背景には建材高騰や建設業者の人員不足がありました。そして2回目の再入札は3月に、1億5300万円で落札となりました。

このことにより、くろさき荘の増築工事は大幅に遅れ、8月末ごろの予定となります。

#### ※全国で入札不調2倍に

都道府県が平成25年4月から12月まで実施した公共工事の入札のうち、受注業者の決

まらない「入札不調」などが占める割合は、平均7.8%で、例年の2.3%に比べ急増しています。本県は21.8%が不調に終わりました。県は入札不調が増加した原因を▽復興事業の本格化▽資材・機材の不足▽建設業者の人手不足と分析しています。

(4月10日付け岩手日報)

### 第4回臨時議会

#### 村所有の車両事故の専決処分

1月23日、普代地内で発生した接触事故で賠償額は8万4924円。賠償額は保険金から補填されるものです。

#### 25年度一般会計補正

事業の年度末確定により、災害復旧、道路改良などの繰越事業4億7203万8千円が確定し、26年度へ繰り越されます。歳入歳出の予算総額は、34億4716万8千円となりました。

#### 26年度一般会計補正

県補助金の緊急雇用創出事業(介護人材育成事業)2人分467万6千円が増額の補正となりました。歳入歳出の予算総額は、27億4207万6千円となりました。

## 長年の道路改良要望 実現への一歩に!!



### ① 沢山橋の調査費に3千万

十数年来県に要望を重ねてきた沢山橋の改良工事が、26年度の予算に調査費として3千万円が付き見通しがたちました。

その背景には、復興枠予算という特別交付税があったということもありますが、県会議員、国会議員の先生方の尽力があって実現しています。

今後は27年度に用地買収して、幅12mの橋として29年度には完成する計画となっています。

### ② 普代小屋瀬線の測量費

旧鳥茂渡小学校までの約400mの改良工事となり、26年度の測量費予算として700万円計上され、27年度から工事に入る計画となります。

この2つの改良工事進展で、普代駅前1号線から国道45号への接続と、しもへいグリーンロードへの経由の不便が解消されます。三陸沿岸道路の開通と併せ観光振興、交流人口の増加へつながるものと思



厨房と食堂が改修される予定のくろさき荘

「もつと見回りを」

宮下俊光さん  
(72 堀内)

堀内と沢向の津波避難路がなかなかできないので、急いでほしいです。村民と議会との意見交換会はよい取り組みだと思うので、回数を増やしてほしいのではないですか。議員の皆さんは地元を見て回り、道路状況などを把握してほしいです。

「漁業を盛り上げて」

中居タツさん  
(86 太田名部)

議会を傍聴してみても、議員さんたちは真剣に村のことを考えてくれているなあと感じました。おかげさまで漁業のほうも整備されてきていると思います。

最近思うことは、人口も減り村に漁師がいなくなるのではないかとということです。議員の皆さんも頑張つて漁業を盛り上げてほしいと思います。

◆ 議会の主な動き ◆

(抜粋)

1月

▶ 28日・普代村議会全員協議会(役場)

2月

- ▶ 3日・議会運営委員会(役場)、第1回普代村議会臨時会
- ▶ 4～5日・村民と議会との意見交換会(村内)
- ▶ 19日・平成25年度自営地網切場祝い(くろさき荘)
- ▶ 21日・総務・産業経済常任委員会(役場)
- ▶ 27日・議会運営委員会(役場)

3月

- ▶ 2日・三陸沿岸道路尾肝要道路開通式・開通祝賀会(田野畑村)
- ▶ 4～7日・第2回普代村議会定例会(役場)
- ▶ 11日・東日本大震災三周年普代村追悼式(管理センター)
- ▶ 12日・普代中学校卒業式(同中)
- ▶ 18日・議会運営委員会、普代村議会全員協議会、第3回普代村議会臨時会(役場)
- ▶ 20日・普代小学校卒業式(同小)
- ▶ 25日・はまゆり子ども園卒園式(同園)

4月

- ▶ 4日・はまゆり子ども園入園式(同園)
- ▶ 5日・普代消防団歓送迎会(くろさき荘)
- ▶ 6日・根本復興大臣来庁(役場・村内)
- ▶ 7日・普代中学校入学式(同中)
- ▶ 8日・普代小学校入学式(同小)
- ▶ 11日・議会広報常任委員会(役場)
- ▶ 17日・議会広報常任委員会(役場)
- ▶ 22日・普代村議会全員協議会(役場)

議会を傍聴しませんか？

議会の本会議・委員会はどこでも傍聴することができます。定例会は3月、6月、9月、12月の年4回開かれ、次回は6月に予定されています。傍聴は、村議会にふれることのできる身近な方法ですので、ぜひ、お越しください。



○ 新局長の紹介

議会事務局長

森田 安彦(48)



4月1日から、議会事務局にお世話になっております。村の職員になり、水道係と国土調査係をそれぞれ3年、教育委員会では社会教育を8年間、そして総務課で広聴広報

係を10年勤めました。

着任して1カ月、議会事務局の仕事は初めてのことで、期待もあり不安もありの日々を過ごしています。まるで新入学児童のようです。とはいっても、時間は簡単に過ぎていきます。今後は、議会規則などをしっかり勉強し、議会は議論をする場という意味からも『ことば』の重みを深くかみしめながら、よりよい議会運営を目指して頑張りたいと思います。皆様どうぞよろしくお願いたします。

ありがき



▼ 震災から早くも3年目の普代慰霊祭が行われた。ご遺族の方々はもちろん、被災の私共に深い心の傷は癒える事がない。そして、あの絶望の中、多くの方々からのご支援に改めて心から感謝申し上げます。

▼ 現在も新聞テレビで報道され続け、今なお被災地にご支援が寄せられている。また新聞などには絆、助け合い、支え合いとやはり言葉のように多く目にする。それは苦難の中、真に知るありがとう、感謝の心こそ湧き出るものではない。その事を我々は胸に刻み忘れてはならない。

(坂下重雄)

議会広報常任委員会

- 委員長 中上 一登
- 副委員長 森田 幸一
- 委員 坂下 敏光
- 委員 小中 重雄

ふだい議会だより No.127

発行日 平成26年5月1日  
発行 普代村議会  
編集 議会広報常任委員会  
〒028-8392  
岩手県下閉伊郡普代村  
第9地割字銅屋13番地2  
TEL 0194-2118  
FAX 0194-2712  
印刷 有限会社 九戸印刷